

ど ろ か な

「どろかな」といっても、この頃の人にはわからないかも知れない。今様の言葉でいえば、水田土壌の表層剝離である。水苗代の多かった時代には、特に東北地方などでは、苗代の表層剝離のために幼苗が転んで大変困った。しかし、今では保温折ちゅう苗代とか、ビニール苗代、それが畑苗代や育苗器とうつり変ったので、いつしかこの表層剝離に大して気をとめる人もなくなってきた。

このごろ、水稻の除草剤の試験を見ていると、薬の種類によって表層剝離が著しいものと、殆んど全くこれが現われないものがあるのに気がつく。しかし、この「どろかな」は下等な藻類などに起因するもので、高等な草を防ぐ除草剤にその防除の性能を要求するのは酷かも知れないし、また苗代様式のかわって来た今日、その必要もないと考えていた。

ところが、最近熊本県の八代地方で、人力不足対策として、湛水直播が大変な勢いで広がっているが、それがこの表層剝離になやまされており、何とかこれを防ぐ薬はないかという質問を受けた。上述のように、除草剤の種類で表層剝離の多いものと少ないものがあるとすると、これが少ない除草剤の利用価値が見なおされるし、多い薬にこれを抑える薬を混ぜることも工夫しなければなるまい。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
会 長 河 田 党

目 次

防風樹と除草剤

供試防風樹種と処理方法……………2

調査結果および考察……………3

除草剤の防風樹に対する薬害……………4

農林省園芸試験場

久留米支場口之津試験地

奥 代 直 巳

リングに対する果樹被膜剤の利用

サビ発生危険期間……………7

サビ発生の外的影響……………7

サビ生成の内的要因……………7

被膜剤に必要な条件……………7

被膜剤利用上の諸問題……………8

秋田県果樹試験場長

今 喜代治

農林省林業試験場除草剤研究室の紹介

真 部 辰 夫 ……10

昭和43年度冬作、44年度夏作

芝生関係除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

……………11

昭和44年度秋冬作関係除草剤

生育調節剤供試薬剤一覧

財団法人 日本植物調節剤研究協会

……………13